



# ひなまつり 一上巳の節句一

## 節句とは

節とは、季節の変わり目・節目を意味しています。節句とは、季節の節目に無病息災や五穀豊穡、子孫繁栄などを願い、神様へお供え物をしたり飾り付けをして厄や穢れなどの邪悪なものを祓う行事で「節供」ともいい、人日(1月7日 別名:七草の節句)、上巳(3月3日 別名:桃の節句)、端午(5月5日 別名:端午の節句)、七夕(7月7日 別名:笹の節句)、重陽(9月9日 別名:菊の節句)を五節句といいます。

節句の起源は古く、奈良時代(710~794年)の頃に中国から伝わったものが、日本の風土や生活風習などと合わさり、平安時代(794~1185年)には宮廷貴族の行事として定着しました。やがて、江戸時代(1603~1868年)になると公家や武家の間、さらには一般の人々にも広まり発展しました。現在では形を変えているものもありますが、季節を楽しむ行事として大切にされています。

## ひなまつりの起源

中国では、3月の最初の巳の日(上巳)に水辺で体を洗い清めることで邪気を祓うという風習がありました。やがて日本に伝わると、日本の風習と合わさり平安時代には身代わりの人形に穢れをうつして川や海に流し厄を祓う行事となり、のちに3月3日に行われるようになりました。一方、平安時代の宮廷貴族の女の子の間では「ひいな」という人形遊びがありました。これらが結びつき、災いを子どもの代わりに引き受けてくれるひな人形を飾り、女の子の健やかな成長や幸せを願う「ひなまつり」となったと考えられています。

## ひな人形の変遷 一寄贈品を中心に

初期の頃のひな人形は立ち姿をしている立びなと呼ばれるもので、のちに安定の良い座った姿のひな人形へと移り変わっていきました。飾り方については、毛氈(フェルトなどで作られた敷物)を敷いてその上にひな人形を並べていたものから、台を付けたり段を組むなどして飾る段飾りへと変化していきました。

以前は都に住む貴族の行事であったひなまつりも、江戸時代に入ると武士や町人の間に、やがて明治時代以降には農村に暮らす人々へも広がりました。この地域でもひな人形が飾られるようになり、ひな人形やひな飾りの主流は時代によって変化はあるものの、土人形や親王飾り、御殿飾りなどでした。昭和30年代には屏風段飾りが普及し、近年では住宅事情の変化等の様々な要因から、コンパクトなものも選ばれるなど、時代とともにひな人形やひな飾りもまた移り変わっていきました。





## 土人形

土で作られた素焼きの人形であり、江戸時代頃から昭和初期頃まで全国各地で生産・流通していました。<sup>ごうかけんらん</sup>豪華絢爛な内裏びなや御殿飾りが持てない一般の人々には、安価で購入しやすかったため広く親しまれました。制作された人形の種類は、ひな人形（土びな）といった節句人形だけでなく歌舞伎や縁起物などもありました。

小牧では久保一色で制作され、明治30年代から昭和20年代頃まで生産・流通していました。

## 親王飾り

天皇や皇后の姿に似せて作った人形で、男びな女びな一对のひな人形を内裏びなといい、内裏びな一对を中心としたひな飾りの形式を親王飾りといいます。

明治時代の頃は、向かって右に男びな、左に女びなを飾っていましたが、大正天皇あるいは昭和天皇が即位された頃から、向かって左に男びな、右に女びなを飾るようになったと言われています。

## 御殿飾り

京都の御所などを模した御殿に、内裏びな、三人官女、五人囃子<sup>はやし</sup>といったひな人形を飾る形式をいいます。江戸時代の頃に京都で流行していましたが、江戸では普及せず段飾りのほうが流行していたようです。

時代を追うごとにきらびやかな装飾が施された御殿飾りは、一般的には昭和30年代まで見られ、徐々に屏風段飾りへと代わっていきました。

## 屏風段飾り

内裏びなのうしろに屏風を立て、三人官女などの人形を飾る形式をいいます。江戸時代後期にはすでに7段から8段の豪華な飾りがあり、現在でも見られる段飾りの元となるものが、この頃にはすでに出来上がっていたようです。

昭和30年代からは、御殿飾りに代わって飾られるようになり、時代によって形は変えつつも、現在でも多くみられる飾りの一つです。





【協力】

稲垣 五千世氏、小牧市久保一色土雛保存会

【参考文献】

『雛人形と雛祭り』読売新聞社 1980年

『ひなまつり展』知多市歴史民俗博物館 2000年

『ひなまつり展』知多市歴史民俗博物館 2001年

『雛祭り 雛めぐり』文化出版局 2003年

『ひな人形～人形たちの移り変わり～』三好町立歴史民俗資料館 2008年

『ひなまつり 大口町歴史民俗資料館 図録 No.9』大口町教育委員会 2009年

『二川宿本陣まつり ひなまつり』豊橋市二川宿本陣資料館 2009年

『企画展 雛のまつり』岡崎市美術博物館 2010年

【参考 Website】

日本の行事・暦(<http://koyomigyouji.com/nenchugyouji.htm>)

小牧市歴史館ミニ企画展  
「ひなまつり」

平成29年2月17日(金)～4月19日(水)

編集 小牧市教育委員会文化振興課文化財係 (4月1日より生涯学習課になります)

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地 TEL(0568)76-1189

